

個人の思いを尊重することから 始める関係づくりの仕掛け



令和3年3月18日
岡山県倉敷市保健福祉局健康福祉部
健康長寿課地域包括ケア推進室

倉敷市の高齢者の状況

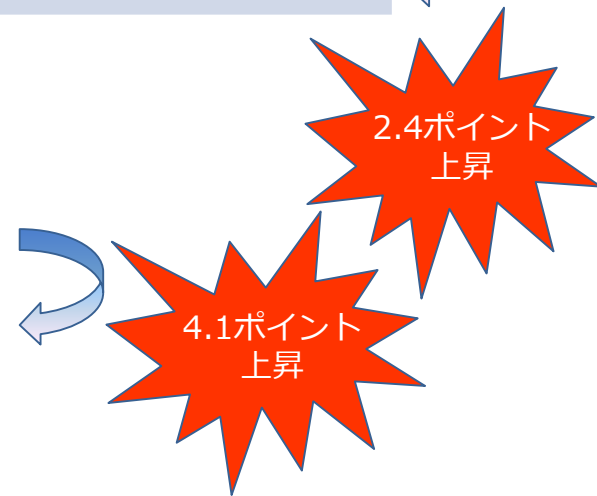
人口			
	男	女	計
令和2年	234,970人	246,676人	481,646人

9月末現在

高齢化率			
	総人口	高齢者人口	高齢化率
平成26年	483,526人	120,976人	25.0%
令和2年	481,646人	131,947人	27.4%

高齢独居世帯数・率		
	高齢独居世帯数	高齢独居世帯割合
平成12年	8,806世帯	5.5%
平成27年	18,207世帯	9.6%

認知症高齢者数		
	認定者数	認知症数
令和元年	28,174人	17,085人



9月末現在（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の者）

「通いの場」の重要性（1）

地域づくり・介護予防の推進



「通いの場」への取組みを強化

財政的な支援 +

取組みへの支援



3つの活動目標

- ・ 通いの場の調査と情報発信
- ・ 支え合いのまちづくりの意識醸成
- ・ 担い手養成



生活支援コーディネーターを配属
（社会福祉協議会へ委託）

「通いの場」の重要性（2）

「通いの場」ガイドブック

「つながり」「地域の支え合い」「健康寿命の延伸」が大きく広がることを目的に、地域の「通いの場」の立ち上げの手順やヒント、実際の活動事例を紹介した冊子

くらしき「通いの場」ガイドブック
～人が集まる、笑顔が見える～
平成29年2月発行

くらしき「通いの場」ガイドブック第2版
毎日がかようび～通う日～
令和2年3月発行



生活支援コーディネーターとの関係

共に目指すは「地域づくり」

連携

定例協議

小地域ケア会議

⇒情報の共有



支援

人員増員

不安解消

⇒個々の負担軽減



「通いの場」へのアプローチ

アプローチで大切なことは

「してあげる」ではなく 「教えてもらう」

「尊重する」

宝



アプローチ



地域住民（人生の大先輩）

「通いの場」の発掘から支援へ（1）

「通いの場」の **発掘**



「通いの場」の **支援**

“一緒に磨く”

- ⇒ 仲間づくり
- ⇒ 生きがいづくり
- ⇒ つなぐ
- ⇒ 活性化



「通いの場」の充実から「地域づくり」へ

仲間づくり

人との交流ができる



生きがいづくり

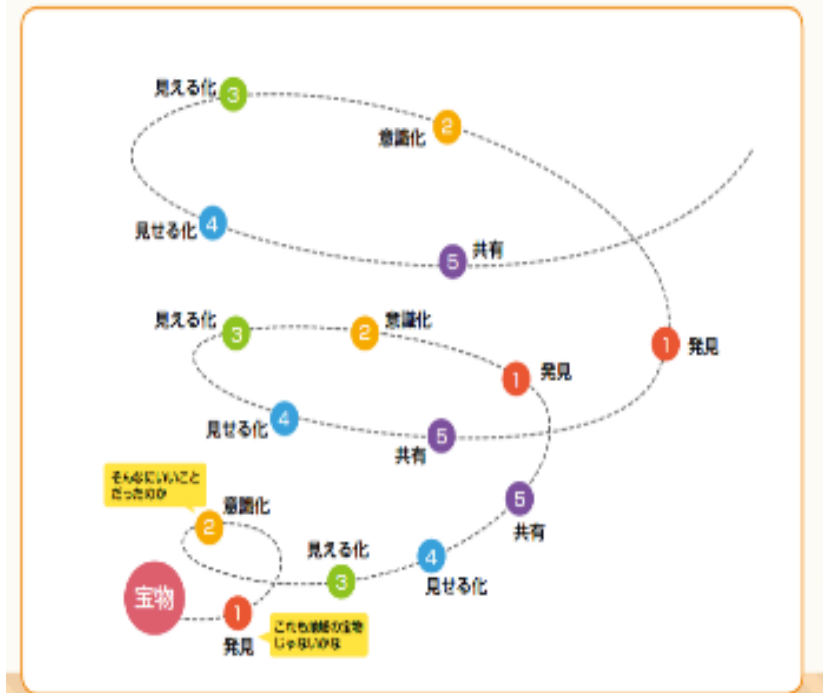
生活意欲が高まる



地域づくり

支え合いが生まれる

■ 図14 地域づくりのループ



資料：生活支援体制整備事業をすすめるための市町村ガイドブック
「地域支援事業における生活支援コーディネーター・協議体の進め方に関する調査研究事業」